



PTAだより

<5号>

2020年3月発行

岡山県立倉敷南高等学校

44期生のみなさん ご卒業おめでとうございます

44期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。倉敷南高校での経験を生かし、それぞれの進路での益々の活躍を期待しています。

44期生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。3年間にわたり、本校PTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。今後も「倉敷南高校応援団」として、本校の発展へお力添えをお願い申し上げます。

卒業式で卒業生のみなさんの胸元を飾ったのは、保護者の皆様の思いのこもった「コサージュ」です。このコサージュは、葦岡祭のフリーマーケット、バザーの収益で材料を購入し、保護者の方々が心をこめて作ってくださったものです。

コサージュづくりにご参加くださりありがとうございました！

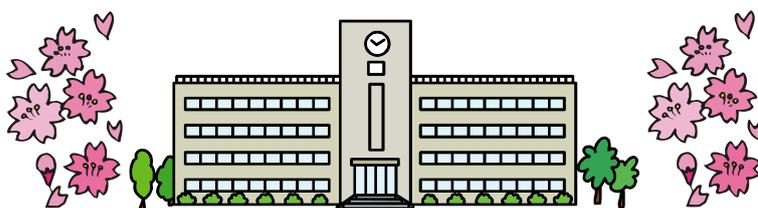
2月1日（土）に本校被服教室でコサージュづくりを開催しましたところ、50名以上の保護者の方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

コサージュづくりの後は、お茶をしながら交流をし、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今年も、おしゃれで美しい、思いのこもった素敵なコサージュが完成しました！



第44回卒業式（本校ブログより）



第38回岡山県幼小中高PTA連合会連絡協議会研修大会 参加報告

PTA副会長 出口晴子 PTA監事 吉村由輝

1月22日に岡山シンフォニーホールにて開催された、第38回岡山県幼小中高PTA連合会連絡協議会研修大会に参加しました。

最初に岡山県立総社南高等学校の生徒が、西日本豪雨災害でボランティアに参加した様子を写真や動画で発表しました。「高校生に何かできることはないか？今、自分達にできることをやりたい」という気持ちから、多くの高校生たちが立ち上がり、自ら考えて行動する様子を発表していて、高校生たちの強い思いに感動しました。

次に勝央町立勝央中学校の生徒が、高校生と一緒に、図書館の魅力アップ、公民館ロビーの活用、子どもの食生活プロジェクト、青空カフェ出店等、地元を盛り上げる活動で、いろいろなアイデアを出して話し合い、地域の方や地元企業の方々の協力を得ながら実現に向けて取り組んだ様子の発表がありました。生徒たちがよく考え、そこに周りの大人たちとのつながりがあって、心温まる発表でした。

講演では、青山学院大学陸上競技部監督の原晋氏を講師にお迎えして「逆転のメソッド～教師として親としてできること～」という演題でお話がありました。青学陸上競技部で結果を出せたのはなぜか、箱根駅伝のエピソードも交えながらお話ししてくださいました。原監督は、16年かけて、まずは土台となる組織作りをして組織力を上げたそうです。それと同時に、学生と向き合いコミュニケーションを取りながら、一人ひとりをよく見て、その子の心に響くタイミングでスイッチボタンを押すことで、やる気や能力を引き出してきたことを話されていました。まずは「今の問題は何か」「正しく現状認識をして目標を定めることから始めることや、なにより問題を解決しようという意欲が一番大切な要素」だと話されました。

監督として、相談に来た学生には、「できるだけこちらが答えを出さず最後まで話を聞いて、当事者意識をもたせてから、いくつかのこちらの経験を伝えるようにしている。そして選手が自ら考えて行動をおこせ、ということをお伝え続けた結果により、16年間で強いチームづくりにつながった」と話されていました。「いくら努力しても夢は叶わないこともある、だけど努力しないと夢が叶う確率は0%になってしまう」と、学生たちに伝えているそうです。

親として、今一度、日ごろの子どもとの向き合い方を見直し、安心できる存在となって、子どものやる気を見守っていきたいと思いました。

